

豊田市こども発達センターたんぽぽ
地域障がい児支援体制中核拠点の取り組み

① 幅広い発達段階に高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能	
重症心身障がい児療育の充実	園児に対して遊びや生活を通して基本的な生活習慣、運動発達、摂食嚥下、医療的ケア等に関する専門的な支援（発達支援、家族支援）を行います。
職員の専門性の確保	職場研修を計画的に実施します。（摂食嚥下、虐待防止、姿勢、家族支援、感染対策等） 全国児童発達支援連絡協議会に参加します。 東海地区児童発達支援センター連絡協議会を運営し、施設長会、主任会、職員研修等に参加します。 豊田市心身障がい児早期療育推進委員会に参加します。
多様な専門職との連携	のぞみ診療所の医療・個別療法について情報共有を行い、発達支援に役立てます。 医療的ケアが必要な園児が受診している小児科医とケアについて必要な情報共有を行います。
② 地域の障がい児支援事業所等に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能	
他事業所への支援	重症心身障がい児が利用する児童発達支援事業所と連携し、支援についての情報共有や研修会を開催します。
③ 地域のインクルージョン推進の中核機能	
インクルージョンの推進体制の推進	小中学校・特別支援学校・こども園・幼稚園やパルクとよたと重症心身障がいや医療的ケア等に関する情報共有・連携を行います。 たんぽぽ卒園児や並行通園児が通うこども園等に対して保育所等訪問支援や移行児支援を実施し、専門的な立場から助言等を行います。 医療的ケア児に関する豊田市、みよし市の会議に出席し、たんぽぽの現状を発信します。
地域支援	児童発達支援事業所の職員等を対象とした研修会を開催します。
④ 地域の発達に関する入り口としての相談機能	
超早期療育の充実	この地域の診断されて間もない健康に配慮が必要な未歩行のこどもに対して、定期的に外来療育を実施。専門的な発達支援・家族支援を提供します。